

第5回宮崎県生涯学習実践研究交流会

～みやざきの未来を紡ぐ生涯学習～



令和2年12月12日（土）に第5回宮崎県生涯学習実践研究交流会を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため初のオンラインでの開催となりましたが、約100名の方々に御参加いただき、地域や企業、家庭等の力を合わせた「みやざきならではの生涯学習」を考える機会となりました。



日程

- 13:00～ 開会行事
- 13:05～ 実践発表Ⅰ
- 13:55～ 休息
- 14:05～ 実践発表Ⅱ
- 14:55～ 閉会行事



実践発表の様子

みやざきの「人づくり」「地域づくり」に、それぞれの分野から取り組む2団体による実践発表が行われました。熱い思いをもった2団体による様々な視点からの発表は、とても参考になり、意見交換会では交流が生まれ「つながり」が創出されるなどの場面も見られ、盛況となりました。

一般社団法人ツノスポーツコミッション

スポーツによる地方創生への挑戦！
～ つの職育プロジェクトの紹介～

石原 英明 小松原 駿



（参加者の学び）

- スポーツを活かし、様々な機関との連携を取りながら、地域の住民を巻き込んで発展させていくそのアイデアもさることながら、さらに広がる可能性にワクワクした発表でした。子ども主体のイベントはいいですね。
- スポーツを通してのまちづくりに共感しました。人材育成を通して町に魅力をもたせ、魅力を求めて人が集まるシステム作りには驚きました。さらに注目され、都農モデルが県全体に波及していくことを期待しています。
- 今回の講座を受けて、人や物の流通、目玉になること（都農町はサッカーですが）があると地域の活性化に役立つことを学びました。これからも若い世代が大勢移住してくれるといいですね。

宮崎県立延岡商業高等学校

延商ガールズコレクション ～ 流通経済部の奇跡～

倉田 沙希 高田 優希菜 荒木 心音
飯千 陽菜 甲斐 千里 永田 優衣 児玉 桜愛



(参加者の学び)

- 高校生の企画や研究とは思えない、驚きのある発表でした。地元をより活性化させるために魅力向上をしながら、将来地元に戻る人を増やすことができると、さらに延岡の活性化につながるのではないかと考えました。
- 課題に取り組むために、それに関する講座の研修、現状把握、聞き取り調査、他団体との連携等、自分も初心に戻って、もう一度振り返らなければ…と思いました。
- 自分より若い高校生がアイデアを出し、それを実行していることは感慨深かったです。リモート観光や廃棄される野菜を使って新商品を開発するという案はとても素晴らしいと感じました。高校生が率先して動くことで、地域社会もそれに追随し活性化すると思うので、これからも宮崎を盛り上げていってほしいと思います。

初のオンラインでの実施



コロナ禍の中、交流会の在り方について、準備委員会で熱心な協議が続きました。



休息中は、チンドンで参加者の皆さんに元気を届けてもらいました!



教職員 27名 学生 15名
行政関係 24名 一般 5名
NPO等 7名 県外 15名
発表者 9名 計102名
の方々に参加いただきました。



県社会教育委員に、オンラインでの交流会の在り方や運営などを見ていただきました!